

平成22年度 予算

一般会計 115億4,540万円



埋蔵文化財センター

平成22年度の豊前市予算は「施政方針」(2~4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

また、国、地方を通じる厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えて予算をつくりました。

市の予算には3種類あり、**一般会計予算**は市の基本的な事業や施策をする予算で、皆さんが納めた税金や国、県からの補助金などを財源としています。**特別会計予算**は、国民健康保険事業など特定の事業を行うための予算です。市には7つの特別会計があります。**企業会計**

予算は、地方公営企業法の適用を受けた企業会計として水道事業会計など3つの企業会計があります。

平成22年度の予算額は、一般会計が115億4,540万円で対前年度比1.1%減となっています。特別会計等を含む総額では、175億8,091万円で同0.8%減となっています。

全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		22年度	21年度	増 減	伸率	
一 般 会 計		115億4,540	116億7,580	△1億3,040	△1.1	
特別会計	国民健康保険事業	39億0,179	38億6,114	4,065	1.1	
	老人保健	436	1,154	△718	△62.2	
	後期高齢者医療事業	4億4,878	4億2,204	2,674	6.3	
	住宅新築資金等貸付事業	418	456	△38	△8.3	
	公共用地先行取得事業	1,000	1,000	0	0.0	
	市営駐車場事業	680	780	△100	△12.8	
	バス事業	3,994	4,053	△59	△1.5	
企業会計	水道事業	6億9,291	7億5,926	△6,635	△8.7	
	東部地区工業用水道事業	2,876	2,323	553	23.8	
	下水道事業	公共下水道事業	8億4,646	8億4,738	△92	△0.1
		農業集落排水施設事業	5,153	5,423	△270	△5.0
総 額		175億8,091	177億1,751	△1億3,660	△0.8	

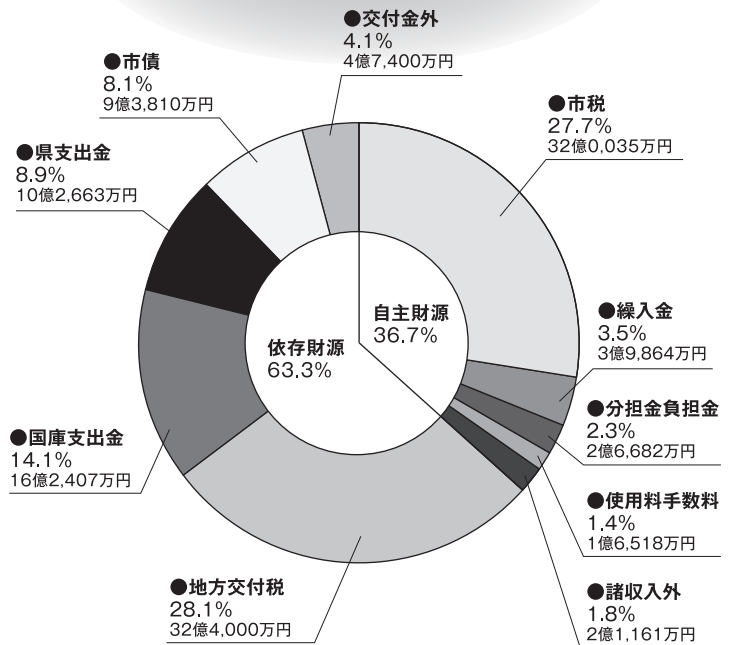
歳入 市税については個人所得の減等により対前年度比2.3%（7,463万円）の減収を見込んでいます。地方交付税については雇用対策・地域資源活用臨時特例費の創設等により3.8%（1億2,000万円）の増となりました。また、国庫支出金については子ども手当負担金の増、住宅建設費補助金の減等のため全体で11.1%（1億6,188万円）の増となっています。一方、市債は臨時財政対策債が1億3,800万円の増のため、通常の起債は1億8,230万円の減となりました。

歳出 義務的経費については人件費が職員数の減のため9.8%（2億0,476万円）の減額、扶助費が子ども手当、並びに乳幼児医療の増のため13.6%（3億2,123万円）の増、公債費が4.2%（5,745万円）の減となりました。投資的経費については、上町団地建替事業の減、森林・林業・木材産業づくり事業の減等により、18.1%（3億2,120万円）の減となりました。

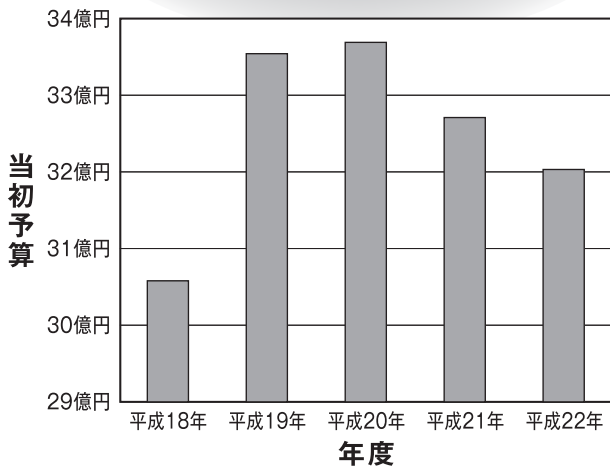
市税32億0,035万円

[市税の内訳]	[単位:万円]	[伸率%]
市民税	12億3,415	△5.0
固定資産税	17億5,820	0.0
軽自動車税	6,400	△0.2
市町村たばこ税	1億4,400	△6.4

歳入予算の内訳



市税の推移



予算用語解説

◎歳入と歳出

これは一般家庭の収入と支出にあたるもので次のような性質や目的に分類されます。

◎自主財源と依存財源

歳入（収入）でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

一方、依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

◎性質別分類と目的別分類

歳入（支出）の見方として予算を使った性質ごとに分類した性質別分類と使う目的ごとに分類した目的別分類の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。

歳出予算の内訳

性質別歳出分類

義務的経費 (51.1%)			投資的経費 (12.6%)	その他の経費 (36.3%)		
扶助費 26億8,488万円 (23.3%) 生活保護、児童、老人、障害者の方を援助するために使います。	人件費 18億9,196万円 (16.4%) 市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。	公債費 13億2,067万円 (11.4%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	普通建設事業費等 14億5,744万円 (12.6%) 道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。	補助費等 15億7,814万円 (13.7%) 一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。	物件費 12億7,692万円 (11.1%) 電算の委託料や光熱水費等に使います。	繰出金 10億8,623万円 (9.4%) 国民健康保険事業会計等の他会計を補助するために使います。

目的別歳出分類

投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など
2億4,916万円 (2.2%)

民生費 42億8,023万円 (37.1%) 高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。	土木費 13億6,193万円 (11.8%) 道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。	公債費 13億2,067万円 (11.4%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	総務費 11億9,630万円 (10.4%) 市役所の一般的な事務経費や選挙などに使います。	教育費 11億8,949万円 (10.3%) 小・中学校、体育施設などの維持管理、整備のために使います。	衛生費 9億2,234万円 (8.0%) ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。	議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 7億9,034万円 (6.8%)
---	--	---	--	--	---	---

農林水産業費
4億8,410万円 (4.2%)

平成22年度の主な事業

(単位:万円)

◎総務費

薬師寺宅地造成事業	7,434
豊前市定住促進補助金	500
公有財産台帳整備業務委託料	390
コミュニティ助成事業補助金	250
中津・豊前コミュニティバス運行事業	743

◎民生費

介護基盤緊急整備補助金	3,414
高齢者見守り・社会参加促進事業	932
地域サロン実施事業	120
子ども手当費	4億2,185

◎衛生費

太陽光発電システム設置費補助金	800
-----------------	-----

◎農林水産業費

活力ある高収益型園芸産地育成事業	828
特産品開発支援事業	248

◎商工費

市道六郎11号線改良事業	600
--------------	-----

◎土木費

道整備交付金事業	2億2,000
上町～沓川池線街路事業	1億2,500
宇島駅自由通路等整備事業	5,000
岩岳川河川公園整備事業	290
住宅改善事業	3,880
上町団地建替事業	1億6,600
公営住宅等長寿命化計画策定業務委託料	500

◎教育費

八屋小学校耐震診断委託料	1,100
千束中学校耐震診断委託料	970
八屋中学校外壁等改修事業	6,500
文化施設整備事業	1億8,750
能徳運動広場整備事業	2,070
県民文化祭事業	200